

 **日本プラスト株式会社**

2022年3月期 第2四半期 決算説明

I. 2022年3月期第2四半期 決算報告

II. 2022年3月期 通期見通し

III. トピックス



I. 2022年3月期第2四半期 決算報告

II. 2022年3月期 通期見通し

III. トピックス



(1) 概要



(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		対前年比	
					増減	伸率
売上高	31,974	100.0%	42,454	100.0%	10,480	32.8 %
売上原価	30,554	95.6%	39,065	92.0%	8,511	27.9 %
売上総利益	1,419	4.4%	3,388	8.0%	1,968	138.7 %
販売費及び一般管理費	2,871	9.0%	3,623	8.5%	751	26.2 %
営業損失	▲ 1,451	▲ 4.5%	▲ 234	▲ 0.6%	1,216	—
経常損失	▲ 1,427	▲ 4.5%	▲ 200	▲ 0.5%	1,227	—
四半期純損失	▲ 1,406	▲ 4.4%	▲ 448	▲ 1.1%	957	—
一株当り四半期純損失	▲ 72.75円		▲ 23.47円		—	—
1株当たり配当金	10.00円		15.00円		—	—
設備投資額	2,712		3,264		552	20.4 %
減価償却費	2,421		2,694		272	11.2 %
US \$ 換算レート	注1)	108.25円	注2)	108.47円	0.22円	—

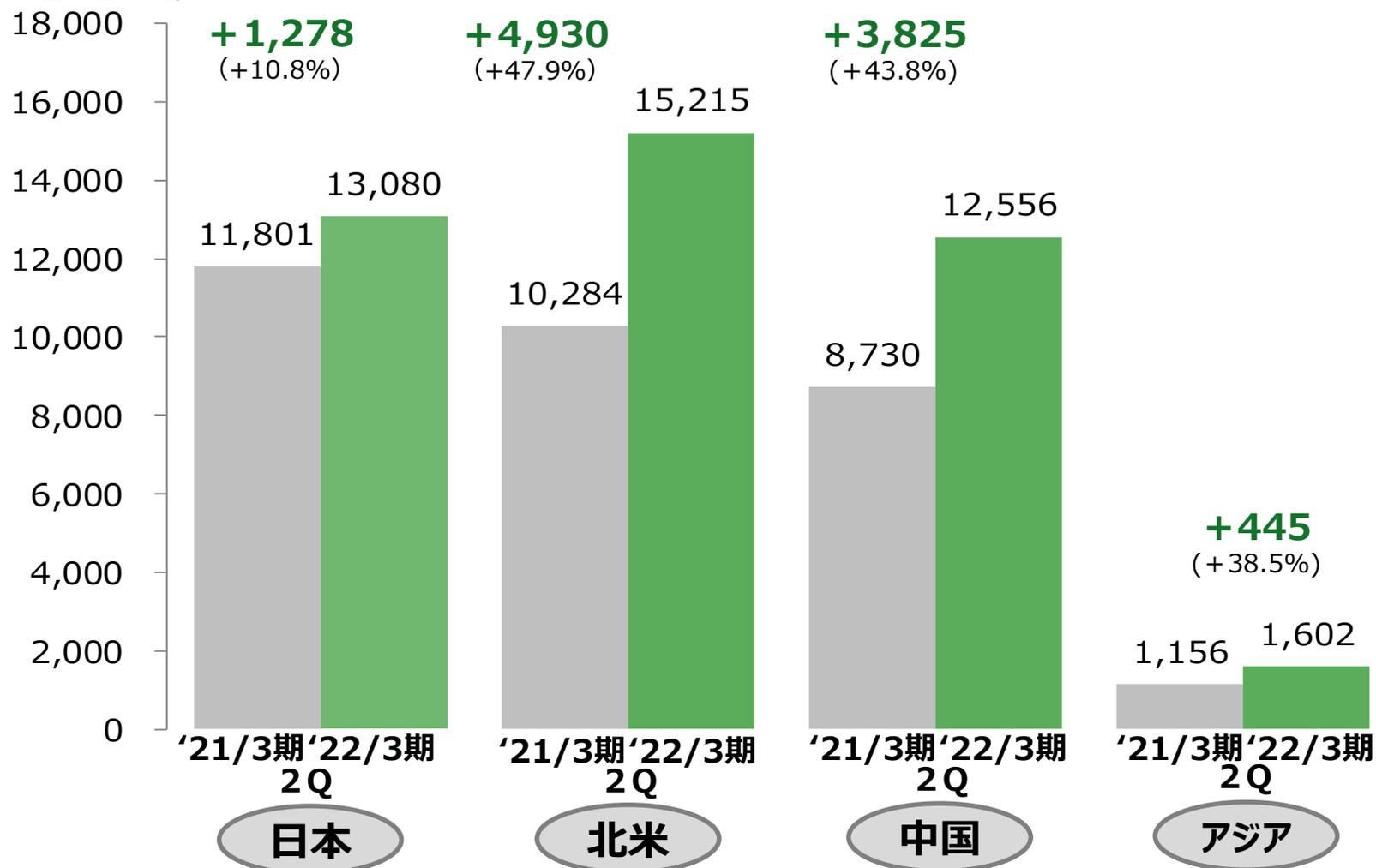
注2) 20年1~6月平均レート

注2) 21年1~6月平均レート

(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)

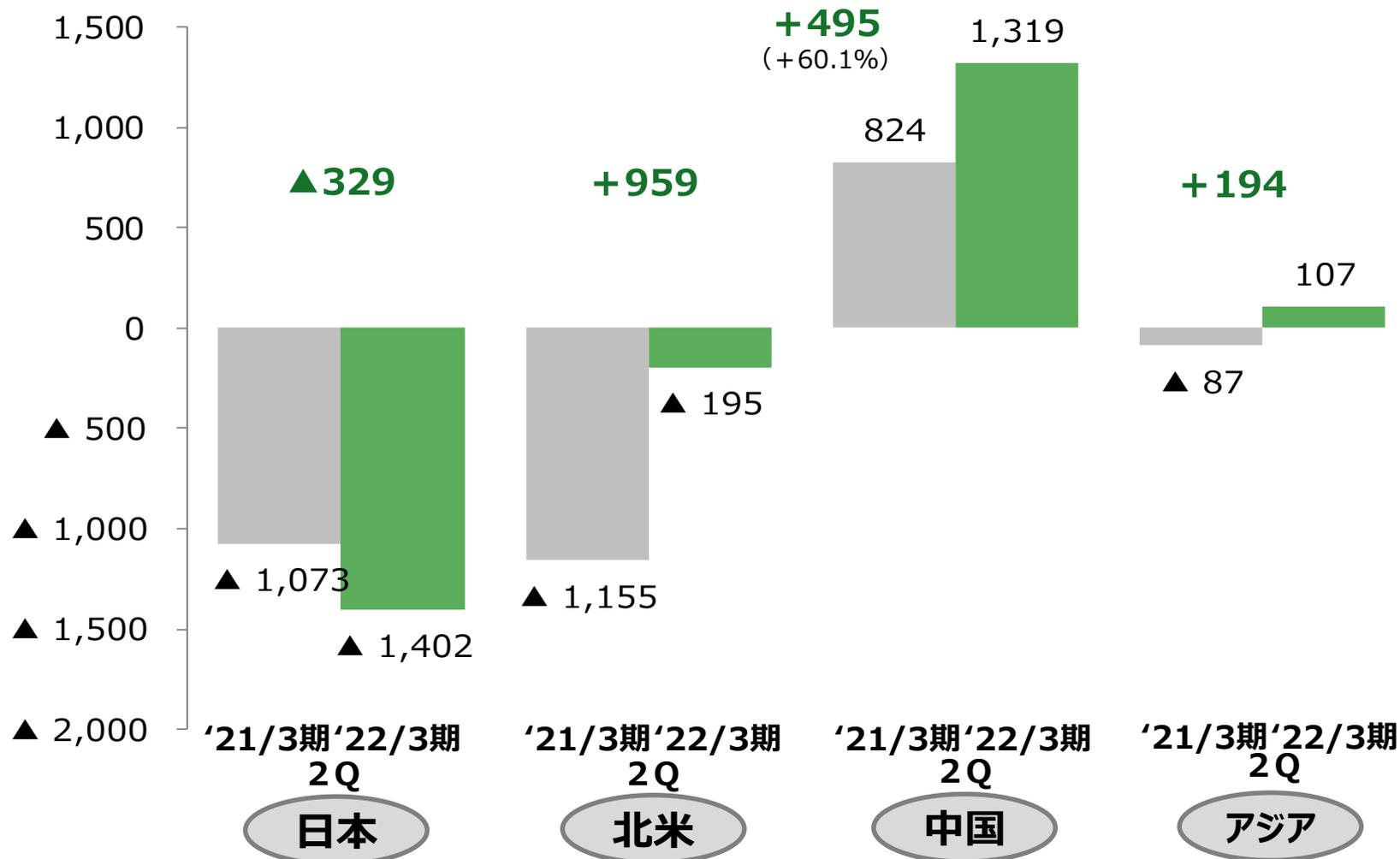


全セグメントで新型コロナウイルス感染拡大影響の減少等により増収

(2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)



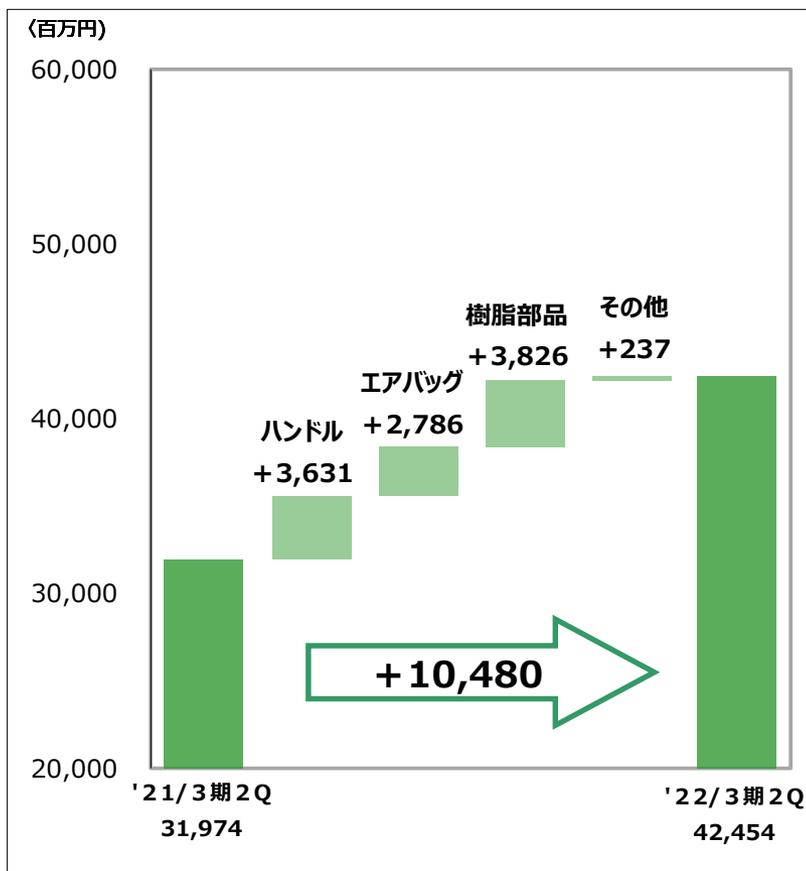
増収影響及び合理化効果はあるものの、半導体供給不足影響による人員余剰、海上輸送費の高騰、市況変動等により日本・北米では赤字脱却できず

(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'21/3期 2Q	'22/3期 2Q	対前年比	
			増減	伸率
			ハンドル	7,452 (23.3%)
エアバッグ	8,477 (26.5%)	11,262 (26.5%)	2,786	32.9%
樹脂部品	15,497 (48.5%)	19,323 (45.5%)	3,826	24.7%
その他	548 (1.7%)	785 (1.8%)	237	43.2%
連結売上高	31,974	42,454	10,480	32.8%



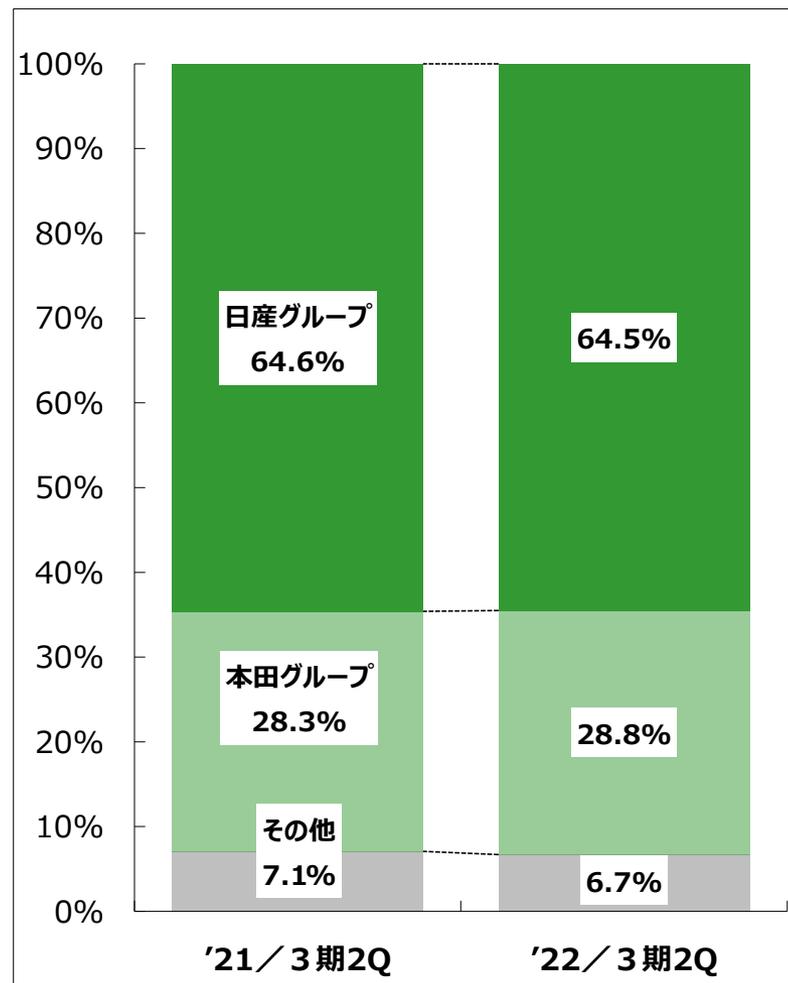
新型コロナウイルスの感染拡大影響からの復旧等により全製品で一様に増加

(4) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'21/3期 2Q	'22/3期 2Q	対前年比	
			増減	伸率
日産グループ	20,659 (64.6 %)	27,385 (64.5 %)	6,725	32.6 %
本田グループ	9,054 (28.3 %)	12,227 (28.8 %)	3,173	35.0 %
その他	2,261 (7.1 %)	2,842 (6.7 %)	581	25.7 %
連結売上高	31,974	42,454	10,480	32.8 %

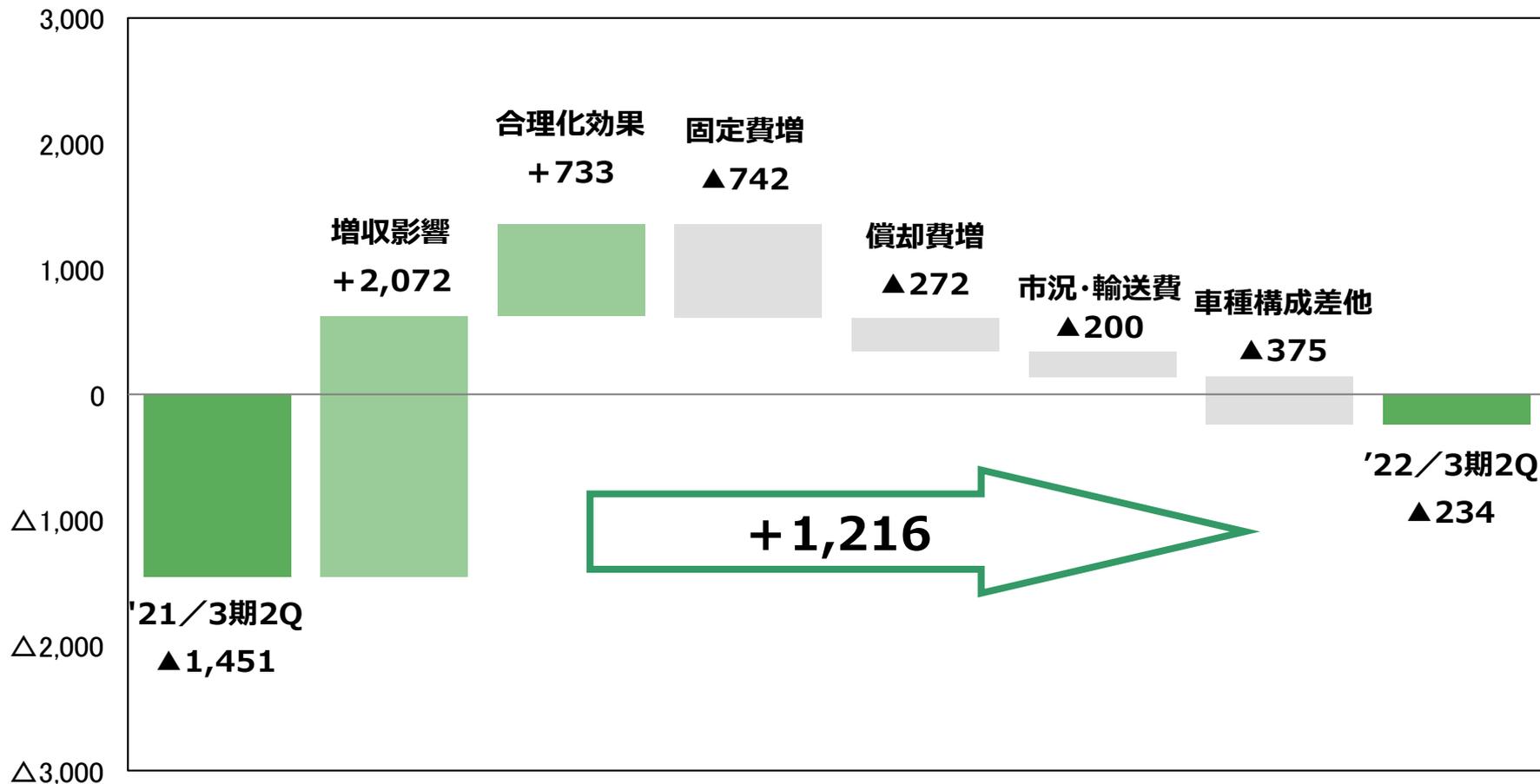


新型コロナウイルスの感染拡大影響からの復旧等により全得意先で一様に増加

(5) 営業利益増減説明



(単位：百万円)



増収影響及び合理化効果により黒字化を見込むも、固定費の増加、海上輸送費の高騰、市況変動等により赤字幅縮小にとどまる

(6) B/S主要増減



(単位：百万円)

	'21/3末	'21/9末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	40,323	38,900	▲ 1,422	・受取手形・売掛金 ▲ 4,257 ・原材料及び貯蔵品 +2,333
固定資産	34,213	35,992	1,778	・有形固定資産 +1,754
資産合計	74,536	74,892	355	

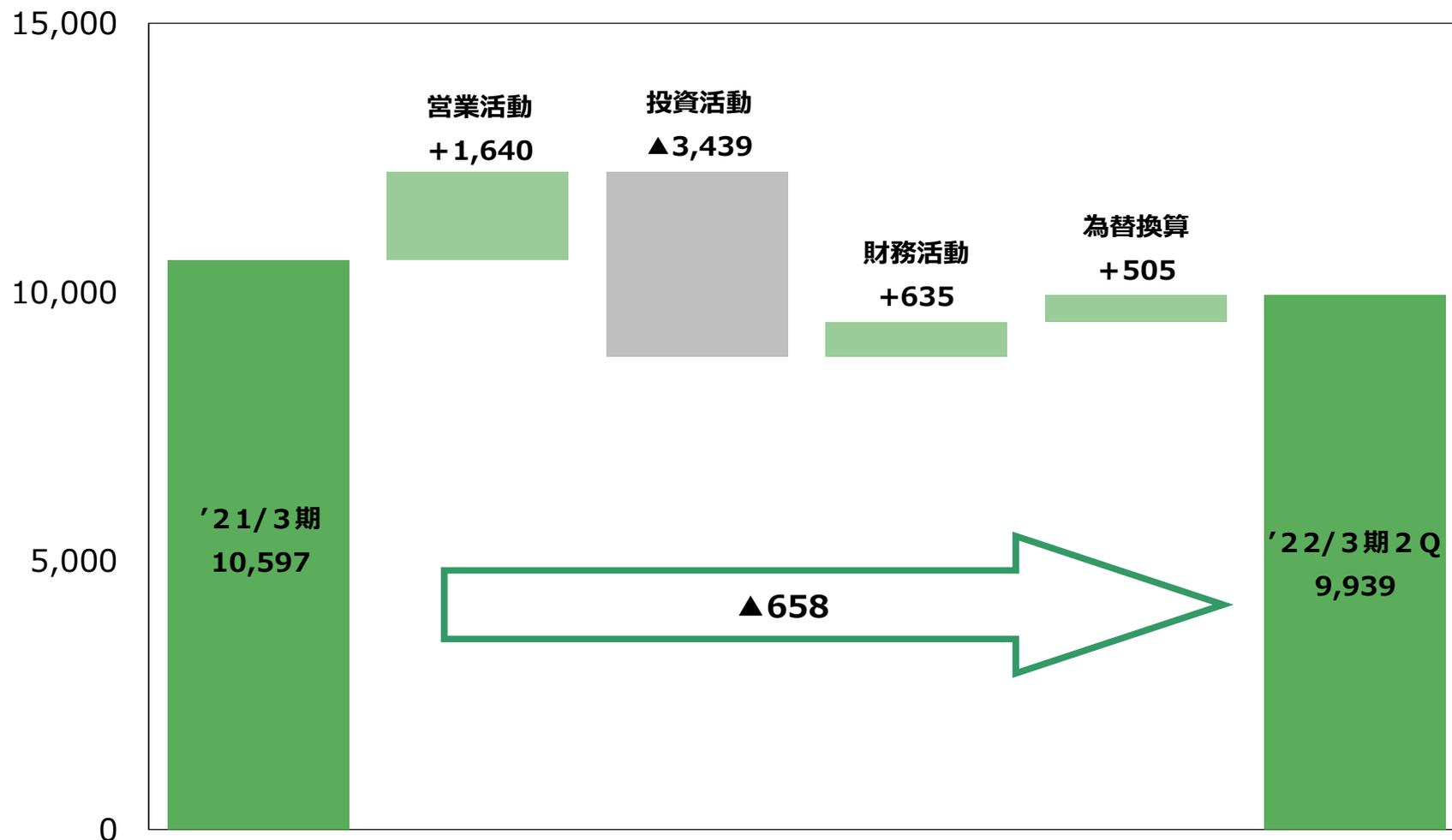
	'21/3末	'21/9末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	31,951	32,387	436	・支払手形・買掛金 ▲ 3,372 ・短期借入金 +2,954
固定負債	9,673	8,439	▲ 1,234	・長期借入金 ▲ 1,060
純資産	32,911	34,065	1,154	・為替勘算調整勘定 +1,802 ・利益剰余金 ▲ 642
自己資本比率	44.2%	45.5%	1.3 %	
負債、少数株主持分及び資本合計	74,536	74,892	355	

自己資本比率は45.5%

(7) C/F増減



(単位：百万円)



必要な手元資金は十分に確保

I. 2022年3月期第2四半期 決算報告

II. 2022年3月期 通期見通し

III. トピックス



(1) 概要



(単位：百万円)

	2022年3月期 連結業績予想 (前回)		2022年3月期 連結業績予想 (今回)		増減	伸率
売上高	103,000	100.0%	86,000	100.0%	▲ 17,000	▲ 16.5 %
営業利益	4,100	4.0%	▲ 500	▲ 0.6%	▲ 4,600	—
経常利益	3,800	3.7%	▲ 500	▲ 0.6%	▲ 4,300	—
当期純利益又は 当期純損失	2,600	2.5%	▲ 1,300	▲ 1.5%	▲ 3,900	—
一株当り当期純利益又は 一株当り当期純損失	135.98円		▲ 67.99円		—	—
1株当たり配当金	30.00円		30.00円		—	—

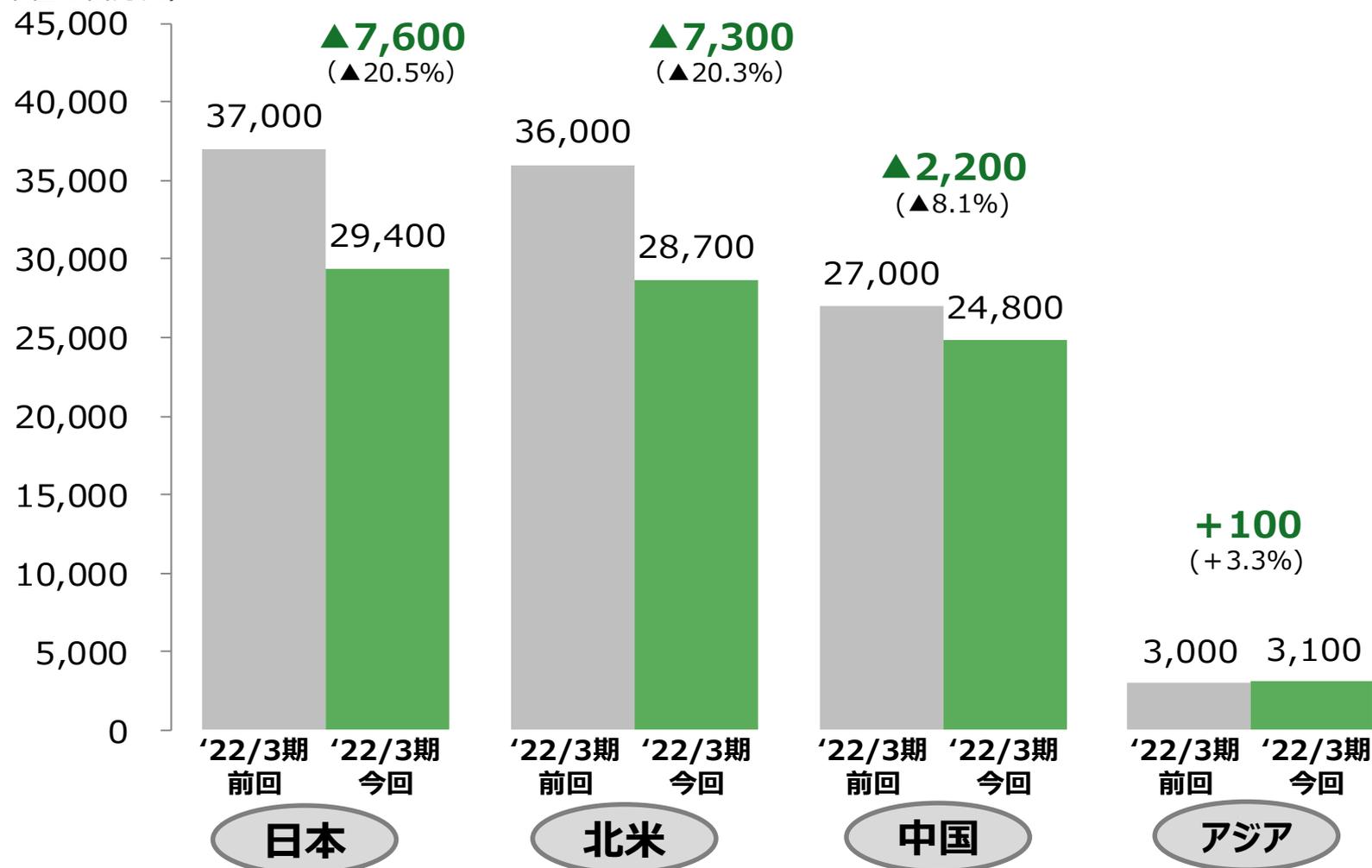
設備投資額	7,800	7,800	0	0.0 %
減価償却費	5,546	5,640	94	1.7 %

US \$ 換算レート	108.00円	109.24円	1.24	—
-------------	---------	---------	------	---

(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)

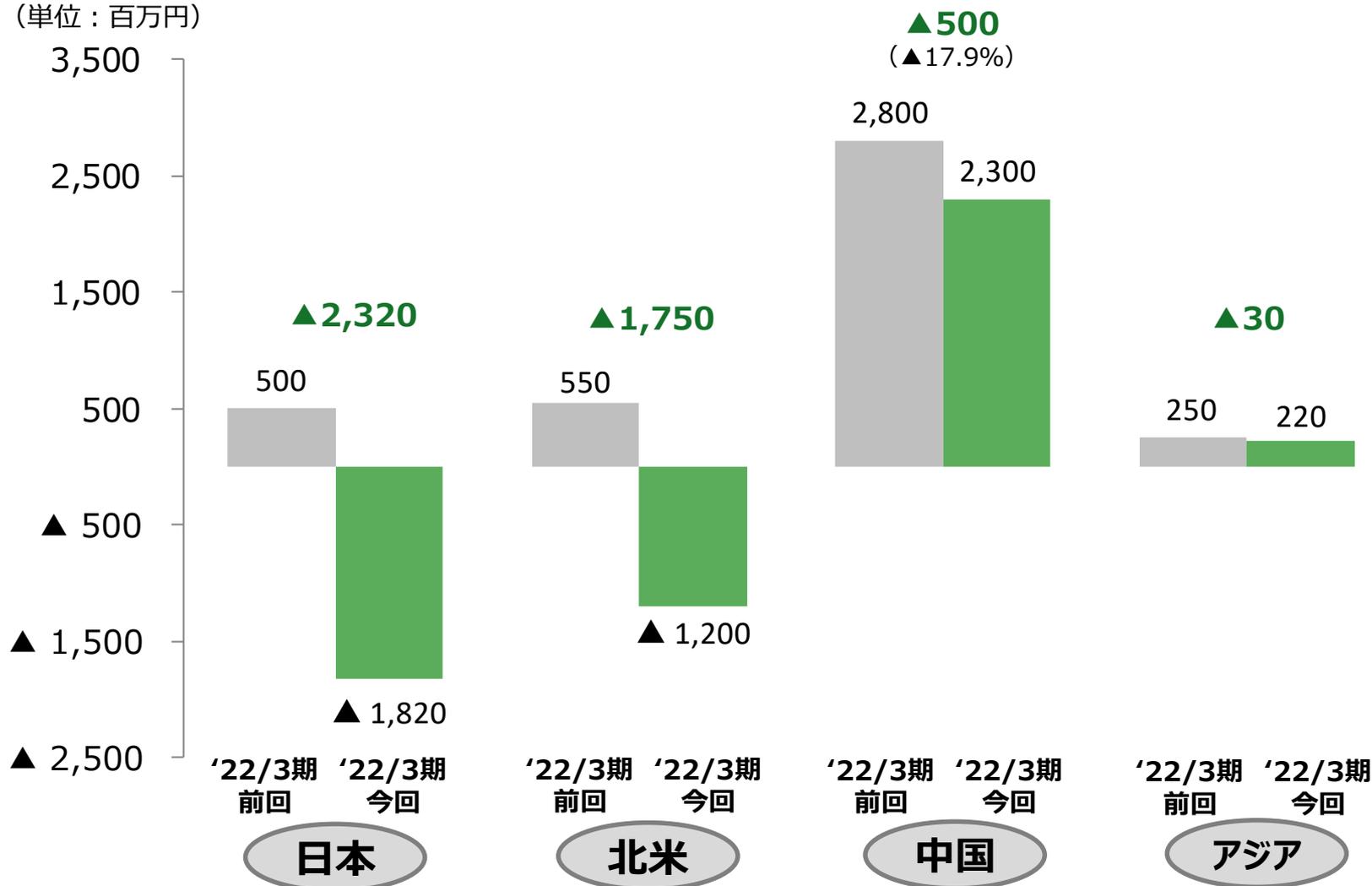


半導体供給不足の影響等を受け、前回予想を下回る見通し

(2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)



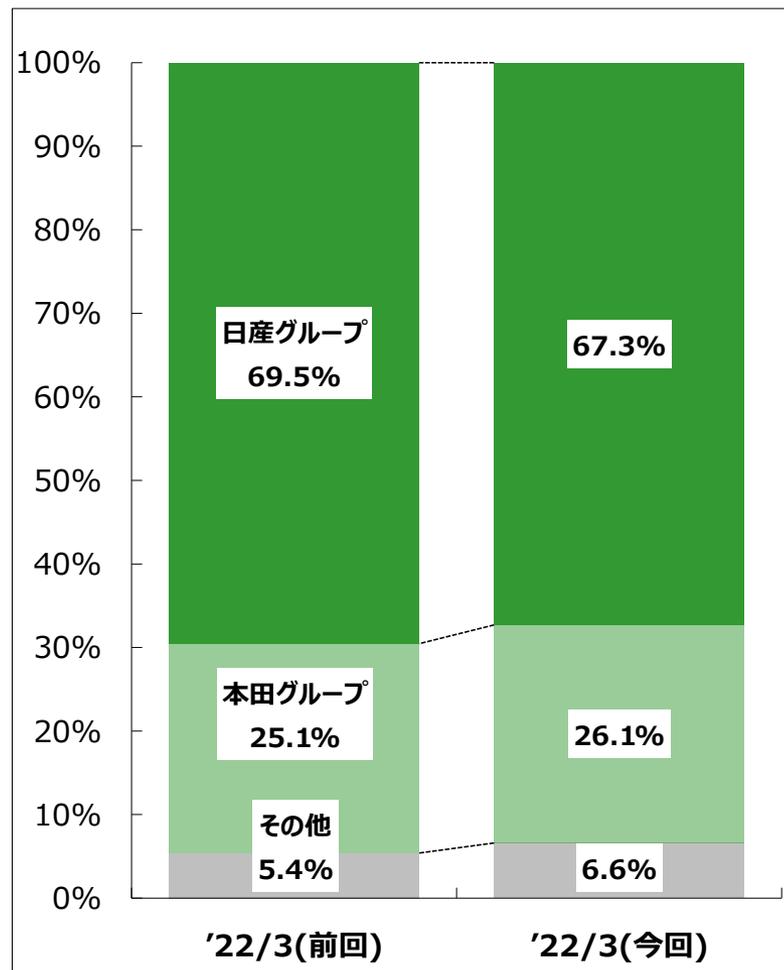
合理化に努めたものの、半導体供給不足等の影響による減収及び人員余剰、海上輸送費の高騰、市況変動等により日本・北米では赤字となる見通し

(4) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'22/3期 前回予想	'22/3期 今回予想	対前年比	
			増減	伸率
日産グループ	71,627 (69.5 %)	57,910 (67.3 %)	▲ 13,717	▲ 19.2 %
本田グループ	25,816 (25.1 %)	22,410 (26.1 %)	▲ 3,406	▲ 13.2 %
その他	5,558 (5.4 %)	5,680 (6.6 %)	122	2.2 %
連結売上高	103,000	86,000	▲ 17,000	▲ 16.5 %

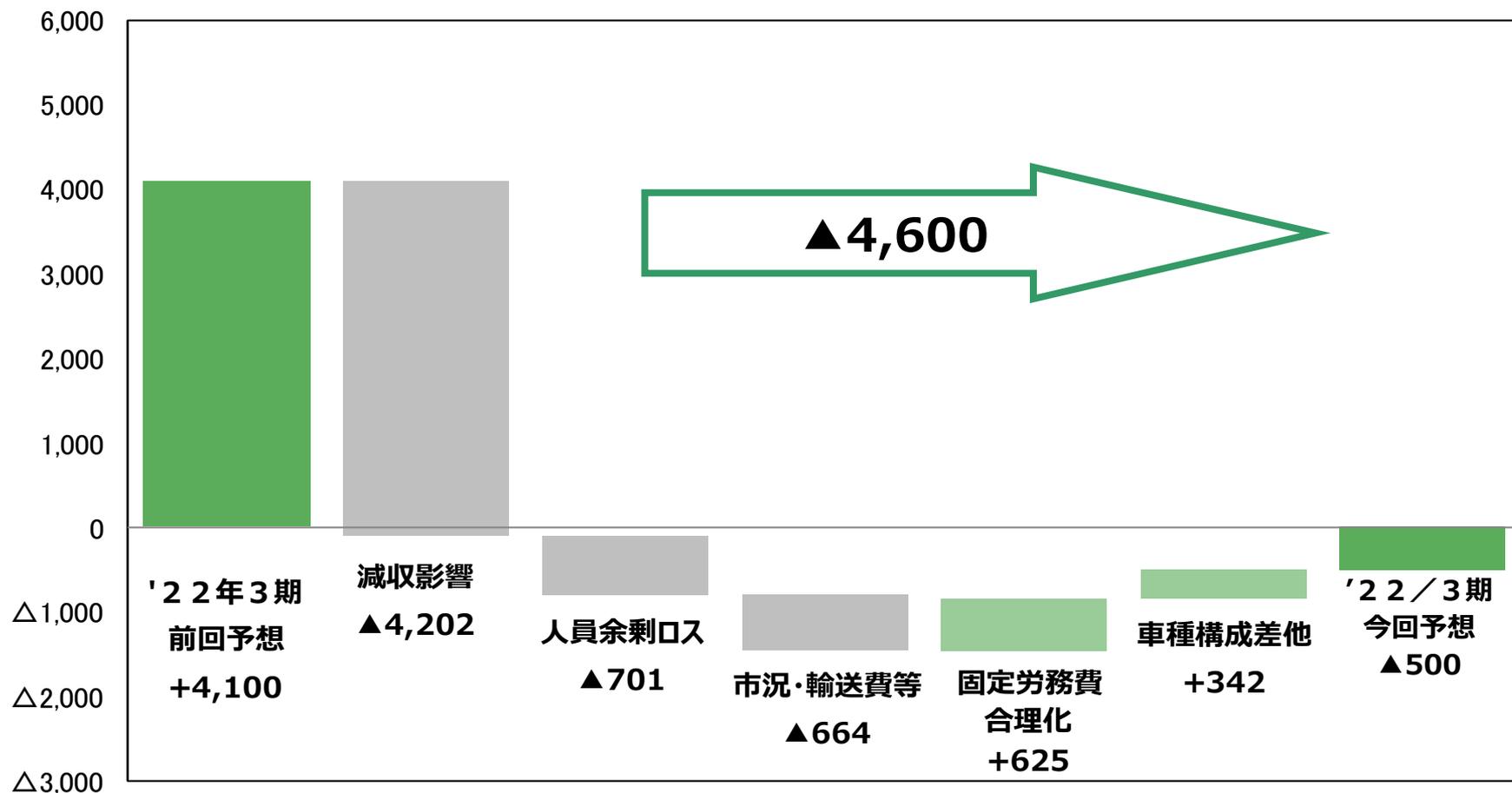


半導体供給不足の影響等により日産・本田では前回予想を下回る見通し

(5) 営業利益増減説明



(単位：百万円)



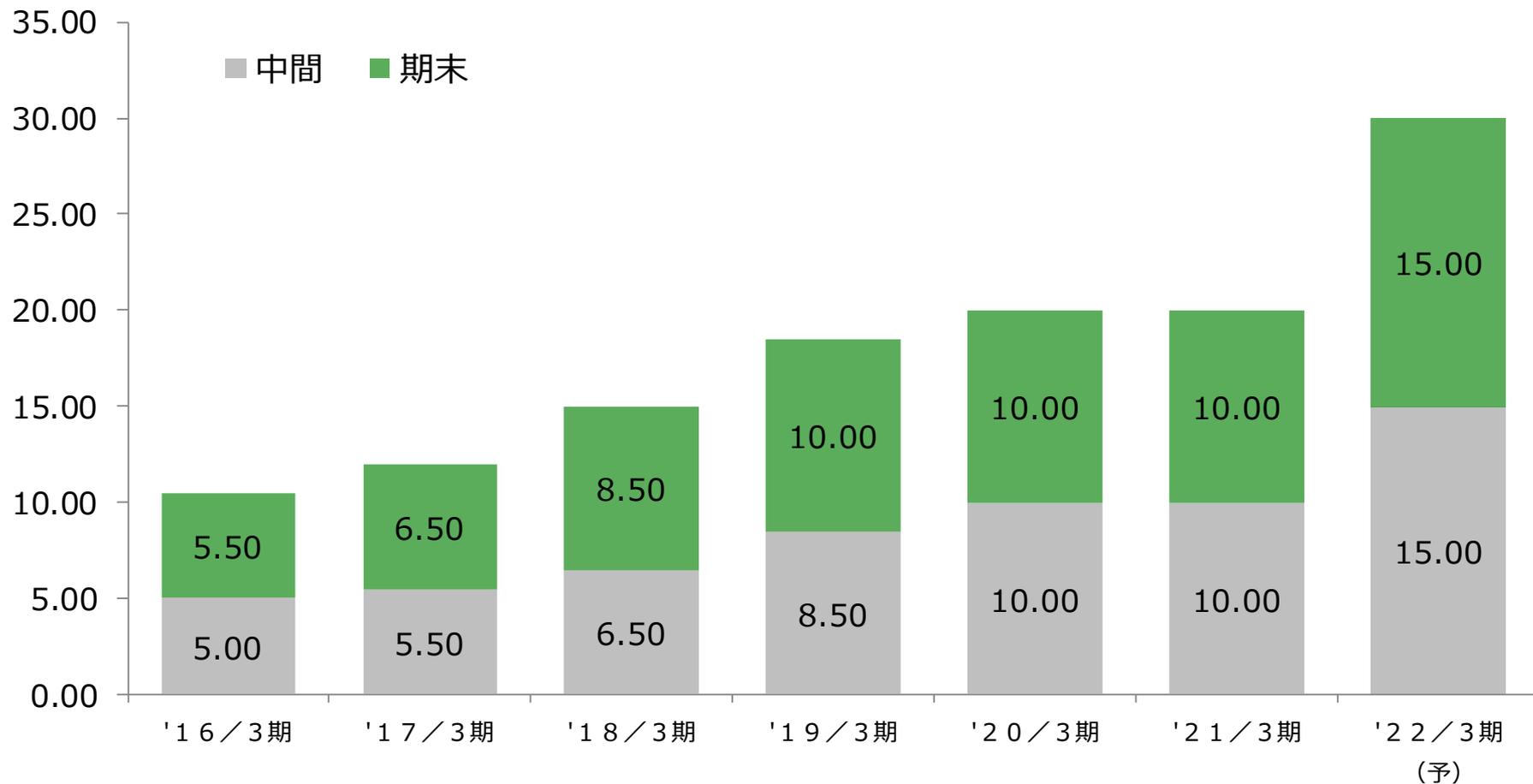
固定労務費合理化に努めたものの、半導体供給不足等の影響による減収及び人員余剰、海上輸送費の高騰、市況変動等により赤字となる見通し

(7) 配当金



(単位：円)

<配当金推移>



当初開示通り、前期比50%の増配を予定

I. 2022年3月期第2四半期 決算報告

II. 2022年3月期 通期見通し

III. トピックス



トピックス_新規受注活動

日産 NOTE/NOTE AURA (20年12月/21年8月日本発売)



カバーカウルトップ



【当社が受注している部品】

安全部品

- ・ハンドル
- ・運転席用エアバッグ

インテリア部品

- ・カップホルダー
- ・エアコンベンチレーター

エクステリア部品

- ・カバーカウルトップ



エアコンベンチレーター

カップホルダー

ハンドル

運転席用エアバッグ

新規

バッテリー冷却部品 (9点)

出典：日産自動車株式会社 <https://www3.nissan.co.jp/>

トピックス_新規受注活動

日産 Pathfinder (21年8月北米発売)



【当社が受注している部品】

安全部品

- ・ハンドル
- ・運転席用エアバッグ

インテリア部品

- ・ルーフ エアコンベンチレーター

エクステリア部品

- ・カバーカウルトップ°
- ・フェンダープロテクター
- ・空力向上部品 (4点)

出典：日産自動車株式会社 <https://www.nissanusa.com/>

トピックス_新規受注活動

日産 QASHQAI (21年7月欧州発売)

【当社が受注している部品】

安全部品

新規 **・ハンドル (HOD (※) 採用)**

・運転席用エアバッグ

※HOD (ハンズ・オン・ディテクション) とは
運転者がハンドルを把持しているか否かを
検知する機能です。
それにより自動運転の切替が可能となります。

トピックス_新規受注活動

ホンダ シビック (21年9月日本発売)



【当社が受注している部品】

インテリア部品

新規

- ・ダッシュボードフレーム部品 (2点)
- ・ダッシュボードカバー部品 (3点)
- ・空調ダクト関連部品 (7点)



エクステリア部品

新規

- ・タイヤ内部消音部品 (4点)
- ・空力向上部品 (3点)

トピックス_新規受注活動

スズキ ワゴンRスマイル (21年9月日本発売)



【当社が受注している部品】
エクステリア部品

新規 ・カバーカウルトップ



新規 ・フェンダープロテクター



出典：スズキ株式会社 <https://www.suzuki.co.jp/>

トピックス_SDGsへの貢献

■SDGs促進に向け『SDGs推進課』を発足

10月1日より、持続可能な開発目標(SDGs)達成へ貢献するため、経営企画室内にSDGs推進課を新設



SDGs推進課メンバー



■障がい者の雇用拡大に向けた取り組み

富士宮市内の特別支援学校と静岡県立あしたか職業訓練校の生徒を対象に、今年度2回目・3回目となるインターンシップを実施しました。今後も障がい者雇用拡大に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。



■社内廃材実質ゼロ化への取り組み

当社の孫会社であるNeaton Auto Mexicana ,S.A. de C.V. (メキシコケタロ州) の製造工程で発生する表皮の端材が、ケタロ市内の公立小学校に通う子供の母親たちの手で手芸作品に生まれ変わりました。今後、日本での販売を予定しており、売上の一部は経済難の子供たちの教育支援に役立てられます。



■地域社会・環境への貢献

静岡県主催の海洋プラスチックごみ防止「6 R県民運動」(※)海岸清掃活動へ参加しました。

(※)「6 R県民運動」とは、ごみ削減に必要な従来の3 R(リデュース・リユース・リサイクル)にプラスチックごみの発生抑制や海洋流出防止のために新たな3つのR(リフューズ・リターン・リカバー)を加えて、静岡県独自の「6 R」とし、その実践に県民総参加で取り組むために静岡県が推進している運動。



今後もステークホルダーの皆様と協力して各施策を包括的に推進いたします。

SDGs情報は日本プラストホームページ <https://www.n-plast.co.jp/>



ご視聴ありがとうございました。

◆決算説明に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/KwUAzP7JT5AQ3yYy7>

(受付期限：2021年12月24日)



◆今後の運営の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご協力ください。

※アンケートにご回答いただいた方、**先着50名に粗品をプレゼント**いたします。

アンケート入力画面：<https://forms.gle/DyNWLWCTa2HnJKis8>

(回答期限：2021年12月24日)



◆本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。